

2022年7月25日

受益者のみなさま

三菱UFJ国際投信株式会社

「サイバーセキュリティ株式マザーファンド」約款変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社「サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）／（為替ヘッジあり）予想分配金提示型／（為替ヘッジなし）予想分配金提示型」の投資対象マザーファンドである「サイバーセキュリティ株式マザーファンド」につきまして、下記のとおり約款変更を行いましたので、お知らせ申し上げます。

本件変更後も当該ファンドの運用方針および運用プロセスには変更はございません。また、本件の変更による当該ファンドの運営への影響はございません。

本件変更の趣旨についてご理解賜りますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

本件変更に関しまして、受益者のみなさまのお手続きは不要です。

敬具

記

1. 対象ファンド
サイバーセキュリティ株式マザーファンド
2. 約款変更日
2022年7月25日
3. 変更内容（運用指図権限の委託先の変更）

変更後	ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー
変更前	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシー

4. 変更理由
当該ファンドの運用指図権限の委託先である、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシー（以下、「アリアンツ米国法人」）の当該ファンドの運用チームを含む主要な運用ビジネスがヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー（以下、「ヴォヤ」）に移管されるためです。

5. 委託先変更の背景

2020年のコロナショック時、アライアンツ米国法人に所属するストラクチャード・プロダクト・グループが運用するヘッジファンドが大幅な損失を計上し、同グループの過少なリスク説明や実態と相違したパフォーマンスの報告などの不正行為が判明いたしました。その結果、2022年5月17日に米国当局からアライアンツ米国法人に対し、10年間の公募投資信託の運用の禁止という処分が下されました。

一方で、不正を働いたグループ以外の運用チーム（対象ファンドの運用チームを含む）は、不正に一切関与していないことが明らかになったことから、以前より米国内の提携について協議していたヴォヤへ運用チームを含む主要な運用ビジネスを移管することとなりました。

6. 目論見書の変更について

2022年7月25日の臨時改版にて、特色2と運用プロセスのイメージ、ファンドの仕組みの運用指図権限の委託先に関する記載内容を変更いたしました。

以上

・ 本お知らせに関するお問い合わせ

三菱UFJ国際投信 お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034

【受付時間／9：00～17：00（土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）】

・ 受益者さまの個別のお取引内容についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社の本支店へお問い合わせください。